

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援マルコ			
○保護者評価実施期間	2025年 8 月 25 日 ～ 2025年 9 月 20 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2025年 8 月 25 日 ～ 2025年 9 月 20 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ホーススウィングやトランポリンが設置されており、粗大運動を通して身体的発達の促進が出来る。	・子供達が体を動かし十分発散出来るように危険に繋がらない為のルールを決めている。	・ブランコのように漕ぐことがメインになっているので、体幹を鍛えられるような使い方や吊り下げずおろした状態で遊べるようにする。 ・月ごとの取り組みの中に身体を動かす活動を立案していく。
2	・高齢者・児童・他部署の大人などいろいろな方々との関りがある。	・行事を一緒に行う。 ・プランターの花が咲いた時にはデイのご利用者様にも季節を感じて頂けるように目に入る場所に配置するなど工夫している。	・全員での参加でなくとも一緒に折り紙や貼り絵の活動を行う。 ・行事を通して触れ合いの場を設ける。
3	・中庭が広く気候の良い季節は戸外活動がのびのび行える。	・虫や小動物に興味関心を持つ姿も見られるので、虫取り網やかごの準備を行い、十分に遊べるようにしている。	・木陰が少ないので春でもタープがあるとよい。 ・遊びの充実をはかるために砂場以外で遊べる場所があると良い。（その他、三輪車・バトミントン・野球など戸外で遊べる玩具の充実をはかる）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育に対する学び・知識	・研修の機会が少ない。 ・上手く伝達講師が出来ていない。	・自己研鑽をつみ、自主性を持った行いをする。子ども達の為に考え、気づきを発信していく。 ・ミーティングなど園内で出来る勉強会（伝達講師も含め）を増やす。
2	・室内の環境（年齢に適した絵本・玩具の提供が出来ているか）		・子供たちの成長に合わせ机・椅子が適しているか等定期的に確認を行っていく。 ・パーティーションで仕切ったり、テントを出したり子供が安心できる場の提供を行っていく。
3	・各部や地域住民との交流の機会が少ない。	・子供が地域で交流できる場所等活動の機会が限られている。	・限られた中でも、長期休業時や季節に応じた地域でのイベント等、情報収集を行い活動に取り入れていく。